

令和2年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習 時間数	6 時間
講習の名称	【選択】原子力と学校教育～教科教育と防災～	講習形態	講義
開設者	長崎大学	定員	15名
開設日/時間	令和2年10月18日(日) / 8:50~16:30	会場	長崎大学文教キャンパス(長崎市) 教育学部33番講義室
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	全学校種 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 藤本 登(人文社会科学域) / n-fuji@nagasaki-u.ac.jp / 095-819-2360			
担当教員(分担担当者等)			
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい：地域の特徴と教科学習から、学校防災教育を理解する。 講習方法：講義と実験・実習・議論により行います。 講習到達目標：①長崎県や松浦市等が提示している学校防災教育の概要を知る。 ②原子力(放射線)や地域の特性等を知る教科学習と宮城県の大川小学校の裁判事例から、これからの学校防災教育を議論し、地域や学校の課題を見いだすことが出来る。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 原子力に関する内容は、放射線や発電の仕組みなどが中学校理科や技術分野で、電源や高レベル放射性廃棄物処分場の選定といった意思決定の内容が社会科で、東日本大震災の被災者に対する誹謗中傷などは道徳で扱われている。一方で、宮城県大川小学校の津波災害による判例は、学校防災教育に一石を投じている。本講座では、指導者として求められる総合的な知識の提供を実験と講義で行うと共に、防災教育として必要な視点や基本的な考え、教科との関連性について、受講者とともに考える。 講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:50~9:00	藤本 登
	講義・実習(学校にかかわる危険事象：リスク認知)	9:00~10:00	藤本 登
	休憩	10:00~10:10	
	講義・実習(東日本大震災の教訓から)	10:10~11:00	藤本 登
	休憩	11:00~11:10	
	講義・実習(長崎県における原子力災害を考える)	11:10~12:40	藤本 登
	昼休憩	12:40~13:30	藤本 登
	講義・実習(実験を通して放射線を知ろう)	13:30~15:00	藤本 登
	休憩	15:00~15:10	
	講義・実習(地域の防災教育を考える)	15:10~15:50	藤本 登
	休憩	15:50~16:00	
	筆記試験	16:00~16:30	藤本 登
キーワード (防災教育) (原子力) (自然災害)			
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	長崎県HP(長崎県の防災教育、学校における安全管理の手引(三訂版)、防災教育カリキュラム)		
各自で準備するもの	関連する教科書、学習指導要領		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。		